

資料提供	
令和3年11月25日	
担当課 (担当者)	県立博物館 学芸課 来見田(くるみだ)博基
電話	0857-26-8044

県立博物館歴史の窓において

「不滅の刀展関連企画 —東照大権現に捧げられた神剣—」の展示を行います

当館歴史・民俗展示室「歴史の窓コーナー」を下記の通り展示替えを行いますので、県民の皆様によく周知するため、ぜひ取材いただきますようお願いいたします。

記

1 趣旨

11月27日から北栄みらい伝承館で開催する共同企画「不滅の刀 ～よみがえる伯耆国の赤羽刀～」にあわせて、博物館では因幡国ゆかりの刀剣を展示します。刀剣は、鳥取藩の初代藩主池田光仲が鳥取東照宮に神剣として奉納したものです。鳥取東照宮は、徳川家康のひ孫にあたる光仲が、慶安3年(1650)に日光東照宮から祭神(東照大権現)を勧請して創始したもので、藩内では別格の存在に位置づけられました。光仲による奉納は、東照宮への崇敬の念を示すものといえるでしょう。奉納された神剣のうち、太刀は山城国(現京都府)の名工・藤原国路の高弟である信濃大掾忠国が作刀したもので、忠国の傑作のひとつに数えられます。外装は伊勢神宮の御神宝太刀を写した珍しい玉纏太刀拵となっており、どちらも鳥取県指定文化財に指定されています。

本展では、武器としての機能性だけでなく、神に捧げられた神剣を展示することで、その精神性や刀装具の美しさなどについても理解を深めいただくことを目的としています。

2 展示テーマ「不滅の刀展関連企画 —東照大権現に捧げられた神剣—」

3 展示資料

- (1) 太刀 信濃大掾藤原忠国 (外装) 玉纏太刀式の太刀拵 慶安2年(1649) 1振
 - (2) 太刀 信濃大掾藤原忠国 (外装) 鏑剣(飾太刀)拵 慶安2年(1649) 1振
- (2点とも鳥取東照宮所蔵、鳥取県指定文化財)

4 展示期間

令和3年11月26日(金)～令和4年1月10日(月・祝)

5 展示場所

鳥取県立博物館1階 歴史民俗常設展示室内

6 入館料

常設展示観覧料180円(団体150円)、次の方は無料(大学生以下・70歳以上の方・学校教育活動での引率者・障がいのある方・難病患者の方・要介護者及びその介護者)

7 問い合わせ先

県立博物館 学芸課 人文担当 (電話 0857-26-8044) 【会場案内図】

